

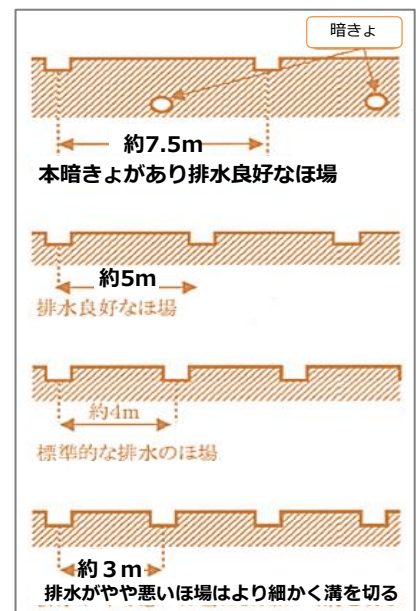
水稻の収穫後は速やかに排水対策を！

麦の栽培において排水対策は最も重要な技術であり、湿害を回避することで収量・品質向上に繋がります。排水対策を徹底することにより、麦の出芽や生育が良くなるだけでなく、除草剤や肥料の効果も高まります。

1 排水溝の設置から始めましょう！

天候や土壌状態を確認し、ほ場が湿気ている場合は、トラクターのタイヤ跡が残らない程度にほ場が乾いてから実施しましょう。

排水溝の間隔は、排水条件に合わせて適切に設置しましょう（右図参照）。



2 排水溝はつなぎ、弾丸暗きょも施工しましょう！

設置した溝（明きょ）は、つなぎ目をしっかりとつなぎ、確実に水口から水尻に排水できるようにしましょう。あわせて、弾丸暗きょを設置し、溝（明きょ）とつなぐことで排水性の向上させましょう。また、サブソイラー等による心土破碎を実施することも排水性の向上に有効です。

（例）ほ場の排水状態とうね幅



つなぎ目はしっかりつなぐ！ 弾丸暗きょは明きょとつなぐ！ 心土破碎で排水性向上！